

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1199
施設名	このはな保育園
施設所在地	小平市花小金井7-27-1
法人名	社会福祉法人小松福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

砂と水

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）砂場では毎日遊んでいるが、気温が上がってきて水を使って遊ぶようになった。容器に水を入れて砂場に運ぶうちに、水たまりができたことから、もっと大きくしたいと工夫を始めた。その様子から、水と砂の性質を知り探究につながると思ったから。

2. 活動スケジュール

水と砂の感触を楽しむ
感触を言語化する
水と砂の特性を知る
水と砂を使った遊びのバリエーション

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
砂、水、バケツ、洗面器、シャベル、プラ製水路、ベンチ、ひしゃく

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1回目は大きくなった水たまりを「足湯」と呼んでいた。足をつけることから水たまりに飛び込むことへ変わり、水や泥の感触を楽しんでいた。2回目以降、水の温度を水道の水と比べて確かめたり、もっと深くたくさん貯められるように友達と役割を分担していった。水の流れに着目しはじめ、水路を組み合わせを工夫して砂場外から砂場内へと流れるように長時間集中して子ども同士意見を出し合い、試行錯誤していた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）水路を作った際、どうやったら最後まで流れるか、水路の高さや傾斜、水の流す勢いを変えたりして試していた。また、水が他の場所に流れないように堤防を作ったり、流れた先の砂の水路がつながるように意見を出し合い考えていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た大人の気づき>

水が溜まることに気づき、溜めることを楽しむことから始まった遊びだった。水や砂の感触を感じる感覚的な遊び、共有できた友達とイメージを共有する楽しさ、上から下へ流れて砂に吸い込まれていくなどの水の特性の気づきがあった。楽しいからやっている遊びの中に、様々な学びの要素が含まれていることに気づいた。

